

若狭歴史博物館 主な初公開等展示資料

【みほとけゾーン】

普段は公開されていない平安・鎌倉期の15体の仏像を一堂に展示

展示資料名	写真	説明
<p>大日如来坐像 小浜市黒駒区 大日堂 平安時代 初公開</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・今まで知られていなかった若狭最古(平安後期)の大日如来像 ・像高170cmと大日如来像としては若狭では2番目に大きく、3例目 ・小浜市黒駒区で秘仏として長く信仰されてきたが、一般に公開されるのは初めて
<p>阿弥陀如来三尊像 小浜市竜前 蓮華寺 鎌倉時代 初公開</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉時代初期の京都の様式をよく残す木造の三尊像(本尊・阿弥陀如来坐像と両脇に配置される観音菩薩立像と勢至菩薩立像) ・小浜市竜前区で秘仏として長く信仰されてきたが、一般に公開されるのは初めて。
<p>千手観音菩薩立像 小浜市加茂神社 <u>重要文化財</u> 平安時代 ※展示予定</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・平安初期の古風な特色を残す桧一木造の千手観音像 ・通常は、33年周期で行われる御開帳以外では公開しない仏像 ・像高は113.5cm

※仏像等地域の重要文化財については、寺社等の協力を得て適宜入替え展示する


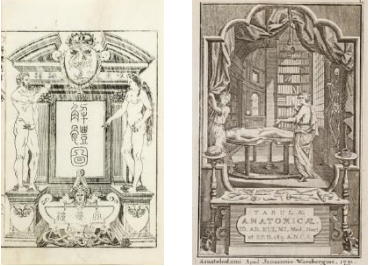

【祭りと芸能ゾーン】

王の舞、放生祭など若狭の祭礼や年中行事を群で紹介

展示資料名	写真	説明
<p>王の舞面 若狭町八幡神社(室町) 美浜町彌美神社(江戸) など 初公開</p>	 <p style="text-align: center;">田上八幡神社王の舞面 彌美神社王の舞面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若狭地方に伝わった初期のころの王の舞面を 初公開
<p>放生祭関連資料 (大頭、ヤセ) 近世</p>	 <p style="text-align: center;">大頭(おこべ) ヤセ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の放生祭では見られなくなったかぶり物などを再現

【歴史ゾーン】

中近世の歴史資料の展示を大幅に拡充

展示資料名	写真	説明
<p>大火縄銃</p> <p>近世</p> <p>初公開</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・幕末に海防のため小浜藩が設置した国内最大級の火縄銃 ・全長は3mを超える。 ・徳川家光が酒井忠勝に下賜したものとされる。
<p>解体新書とターヘル・アノトミア</p> <p>近世</p>	 <p>解体新書 ターヘル・アノトミア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小浜藩医であった杉田玄白と中川淳庵が出版した「解体新書」、その原書である「ターヘル・アノトミア」を比較展示 ・解体新書には学習に使用した跡が残る ・玄白が医者としての半生を振り返って記した「形影夜話」を併せて展示
<p>白磁観音像</p> <p>美浜町青蓮寺</p> <p>中世後期</p> <p>初公開</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・美浜町に伝来した「マリア観音」と称される像 ・海を通じてキリスト教が若狭に入ってきたことを示す貴重な資料 ・像高 30 cm